

事業シート（概要説明書）

事務事業名	ごみ焼却施設管理事業	事業開始年度	平成9年度
根拠法令	無し	担当局・部名	環境部
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	担当課・係名	環境クリーンセンター
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	作成責任者	上原 幹久
事業の必要性・実施の背景	過去の実績からするとごみ焼却施設の全面更新は20年程度とされています。当施設は竣工から15年目を迎え、今後は施設の延命化を考えながら無事故で安定稼働できるように、施設の保全と整備をより確実に行わなければなりません。		
目的 (何をどうするために)	①施設の安定稼働を継続させるため ②市民が安心して可燃ごみを出せるようにするため		
目標 (何がどうなれば達成か)	施設の維持管理を詳細に把握し、綿密な運転計画と整備計画により、安定稼働させること		
対象 (誰・何を対象に)	可燃ごみの焼却処理	対象者数（全市民に対する割合） 人（ 100 % ）	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託（一部） 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： ）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
事業内容 (手段、手法など)	<p>ごみ焼却施設が今後10年以上稼働できるよう運転管理及び施設の保全と機器の整備をしています。</p> <p>【主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却施設運転維持管理業務（23年度予算189,063千円） ごみ焼却施設の適正運転と維持管理を目的とした業務です。中央制御室で設備の一括管理を行い、安定燃焼を図っています。また、ボイラーから発生した蒸気で発電を行い、プール水の昇温に利用するなど、熱エネルギーの有効利用を図っています。24時間4班2交代制で専門業者に委託しています。 ・ごみ焼却施設保守点検整備業務（23年度予算354,000千円） ごみ焼却施設に設置される各種機器の点検整備を行なう業務です。大きく50設備あり、クレーン設備や排ガス処理設備など施設の安定稼働に必要な機器の点検を専門業者に委託しています。 ・ごみ焼却施設整備工事（23年度予算320,000千円） ごみ焼却施設に設置される各種機器の交換、更新を行なう工事です。周期的に交換が必要な部品や点検にて異常が認められた部品などについて更新工事を行います。 		
関連事業 (同一目的事業等)	ごみ焼却灰溶融化事業		

事業概要

事業シート（概要説明書）

事務事業名		ごみ焼却施設管理事業				事業開始年度		平成9年度				
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）				
		需用費		46,278千円		23,721千円		34,716千円		42,314千円		
		委託料		554,541千円		521,163千円		518,417千円		532,724千円		
		工事請負費		320,000千円		289,800千円		572,250千円		788,025千円		
		原材料		53,531千円		34,459千円		44,694千円		36,120千円		
		その他		3,649千円		7,097千円		5,704千円		1,832千円		
	事業費合計		977,999千円		876,240千円		1,175,781千円		1,401,015千円			
人件費		8.3人	62,499千円	5.2人	39,156千円	5.7人	42,921千円	8人	60,240千円			
総事業費		1,040,498千円		915,396千円		1,218,702千円		1,461,255千円				
財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円			
	国県支出金の内容											
	地方債		千円		千円		千円		千円			
	その他特財		138,000千円		143,668千円		443,802千円		155,614千円			
	その他特財の内容		焼却手数料（H20-23）、清掃施設整備繰入金（H21）									
一般財源		839,999千円		732,572千円		731,979千円		1,245,401千円				
財源合計		1,040,498千円		915,396千円		1,218,702千円		1,461,255千円				
事業実績	【活動指標名】		単位		H22年度		H21年度		H20年度			
	活動実績		ごみ焼却量		t		46,239		48,336		50,866	
	効率指標 (事業費/活動指標)		総事業費 / ごみ焼却量		千円/t		20		25		29	
事業成果	【成果指標名】		単位		H22年度		H21年度		H20年度			
	成果実績 (事業目標達成状況)		運転ミスによる施設停止		回		0		0		0	
			機器の故障による焼却停止		回		0		0		0	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		現在のごみ焼却施設の処理能力を考慮し、施設の延命のための保守・工事期間の調整を行い、適正な運転管理をします。併せて現施設が何年まで安定稼働（延命）できるかの調査、検討を行っていきます。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		愛知県内のごみ焼却施設は約40施設あります。設置主体、運転管理方式（直営・委託）や処理方式の違いなどにより、全体での比較ができませんが、ごみ焼却量当たりの22年度費用は次のとおりです。衣浦衛生組合22千円/t、刈谷・知立環境組合20千円/t、西尾市24千円/t、でした。										
特記事項 (事業の沿革等)		<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回のごみ搬入物検査やごみ分別指導を日常的にすることでごみの減量を啓発し、焼却炉の安定燃焼を図りました。 設備の予防保全として、2年毎にボイラー定期事業者検査を実施することで設備の健全性を確認しました。 										